



## 要約

◎生育概況：大雪や非常に強い寒波による低温によって麦類の生育は遅れている。

◎今後の対応

- ・麦踏み：麦の生育状況やほ場の状態に注意して、麦踏みを行いましょ。
- ・排水対策：排水対策を実施していないほ場では、額縁明きよを設置しましょ。
- ・雑草防除：ほ場の様子を見ながら、適期の防除を行いましょ。

## 1 生育概況

11月及び12月の平均気温は平年に比べて低く推移しています（右図参照）。また、1月22日の大雪や寒波も加わって、サチホゴールデンの生育状況では平年比草丈61%、茎数20%、葉齢は2.8枚少なく、平年に比べて生育は遅れています（農業試験場（宇都宮市）1月19日調査）。

## 2 今後の対応

### (1) 麦踏みの実施

麦踏みは、ほ場の麦の大半が2.5葉期（右写真参照）になったら行いましょ。麦踏みの効果は①分けつを旺盛にする、②根張りを良くする（倒伏対策）等があげられます。また、麦踏みは一度行ってから、2週間以上間隔を開けて行いましょ。

現在、降雪によって、ほ場が湿っている状態です。更に、その後の寒波により、ほ場が凍結している場合では、靴に土がつかない程度に乾いてから麦踏みを行いましょ。

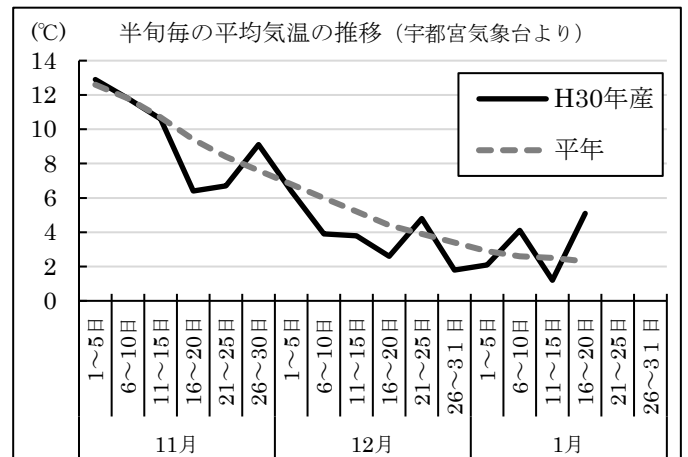
### (2) 排水対策

排水対策を怠ると、本年のような気象ではほ場の乾きが遅れ、麦踏み等の対策にも遅れが生じます。今後の降雨や降雪に備えて、早期に額縁明きよの整備（右写真）を行いましょ。また、明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されていることが重要です。特に本年は生育が遅れているため、排水対策により生育の遅延に対応しましょ。

次年産では、このような気象の対策として、播種作業と同時に排水対策を実施しましょ。

### (3) 雑草防除

ヤエムグラ（右写真参照）などの雑草が発生しているほ場が散見されています。雑草の発生が始まったほ場では、雑草の種類や葉齢注意して、適期を逃さずに散布を行いましょ。



2枚目

3枚目

1枚目



ヤエムグラの生育の様子

（植調雑草大鑑/浅井元朗より）